

資料 1

2014年度第1回総合エネルギー統計検討会(2014年9月12日)
資料 1 を抜粋・改訂

「総合エネルギー統計検討会」の開催について

1. 趣旨

総合エネルギー統計（エネルギーバランス表）は、我が国のエネルギー需給の実態を定量的に明らかにするもの。昭和28年以来、エネルギー政策立案やエネルギー需給に関する情勢判断等に資するものとして、各種一次統計等を基に作成する加工統計（国際エネルギー機関への我が国のエネルギー需給実績の報告や国連気候変動枠組条約事務局へ報告するエネルギー起源 CO₂ 排出量の算定にも活用）。

国連気候変動枠組条約事務局への CO₂ 排出量報告への活用等、当該統計を巡る状況変化を踏まえ、統計の一層の精度向上、透明性の確保の観点から、平成16年以降、当該統計の改訂に際しては、検討会を開催し、エネルギー工程等に知見を有する専門家による検討・評価を実施してきているところ。

今般、当該統計全般に影響を与える①エネルギー源毎の標準発熱量及び炭素排出係数や②エネルギー消費量の推計について、統計の精度向上のため、最近の調査を踏まえ見直しを実施し、その改訂案の検討及び評価を実施することを目的として検討会を開催する。

2. 検討事項

- ①総合エネルギー統計作成方法に関する検討・評価
- ②エネルギー源別標準発熱量に関する検討・評価
- ③ その他の検討事項等（※）

※ 一次統計の取扱い

検討会では、加工統計である総合エネルギー統計の精度向上に向けた論点・議題を中心に検討する。エネルギー関連の一次統計を横断的に捉え、日本全体のエネルギー需給の実態を定量的に明らかにするとの本検討会の役割も踏まえつつ、議論の中で一次統計に関する具体的な課題や改善点が明らかになった場合には、事務局より当該一次統計の担当部署へ伝達するなどの必要な対応を行う。

3. 検討会の公開について

検討会の資料及び議事要旨については、会議の終了後、経済産業省ウェブサイトにて公開する。なお、個別の事情に応じて、会議及び資料を非公開にするかどうかについての判断は、座長に一任するものとする。